

日 本 史

(問 題)

2014年度

< H26081121 >

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

(例) 3825番⇒

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

ヤマト王権の成立から平安時代にかけての歴史は、考古学上の発掘のほか様々な文字・文献史料によって明らかになってきた。7世紀末以来、律令国家は正史の編纂をはじめた。その最初の成果は『日本書紀』であるが、それよりさき、^a『風土記』により、各国ごとの地名の由来・産物・伝承などを記録するように命じている。ほとんどのものは散逸してしま^bったが、^c出雲国などの『風土記』が残された。天皇から庶民層にいたる多彩な人々の歌4500余首を収めた^d『万葉集』は当時の庶民生活を生き生きと謳い上げている。

平安時代になると社会変化に伴う律令法の解釈や各種の追加法令を編纂することが行われた。貴族社会では漢文・仮名の日記や歌集・物語が盛行し、平安文学は様々な分野の作品を残すことになった。国家による歴史書編纂がなくなると、かわって藤原冬嗣から藤原道長の時代に至る過程を問答体・^e**A**体によって綴る『大鏡』に代表されるような歴史物語が描かれるようになり、平安文学の最盛期をむかえる。また、平安新仏教の成立・発展は、仏教理論書のみならず僧侶の社会進出をうながし、民衆にも広範に仏教信仰がひろまった。10世紀中ごろからは、浄土思想がおこって、中央貴族や地方豪族の造寺・造仏・写経等が盛んになり、文学の分野では各種の往生伝が生まれた。また武士が台頭するようになると、戦記文学が生まれた。平安時代後期になると、これらの様々な話題を集大成するかのよう^fに、説話集や当時、庶民から貴族社会に流行っていた^g**B**や極楽歌などの歌謡集も編纂された。これらの諸作品は多くが写本として残されてきた。

奈良・平安時代の資料としてはこの他に、全国の寺社や荘園領主のもとに大量の古文書や絵図も残された。これらによって今日、古代社会の庶民生活についても、^h勅撰の6つの正史を補うゆたかな歴史の復元が行われているのである。

〔問〕

- 下線部 a に関連する説明として、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
ア 聖武天皇の時代に成立した。
イ 漢字の音訓を用いて表現した。
ウ 神代から天智天皇の時代までの歴史をまとめている。
エ 編者は舎人親王・紀清人・太安万侶らである。
オ 中国の古記録も利用して、倭王武の上表文も引用している。
- 下線部 b に関連する記述として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
ア 諸国への編集命令は『日本書紀』に記録されている。
イ 現存するものは出雲のほか常陸・播磨・豊後・肥前の風土記である。
ウ 完全に現存するものは『出雲国風土記』だけである。
エ 編集には各郡の郡司も参加している。
オ 『古事記』・『日本書紀』にはない神話がある。
- 下線部 c に関連する記述として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
ア この地方は砂鉄を産出し、近世に至るまでたたら製鉄がおこなわれた。
イ この地方の加茂岩倉遺跡からは大量の銅鐸が出土した。
ウ 荒神谷遺跡は古代出雲国内にある遺跡である。
エ 出雲大社は大国主神を祭神とする。
オ この地方は大和王権からの独立性が強く、古墳時代の墳墓は四隅突出型墳丘墓が主流であった。

- 4 下線部 d に含まれない歌はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 世間を憂しとやさしと思へども 飛び立ちかねつ鳥にしあらねば
 イ 百伝ふ磐余の池に鳴く鴨を 今日のみ見てや雲隠りなむ
 ウ 大君は神にしませば天雲の 雷の上に蘆せるかも
 エ 天の原ふりさけ見れば春日なる 三笠の山に出でし月かも
 オ 春の野に霞たなびきうら悲し この夕かげにうぐひす鳴くも
- 5 下線部 e に関連する記述として、この時代に該当しないものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 承平・天慶の乱 イ 長講堂領の成立 ウ 安和の変 エ 法成寺の建立 オ 刀伊の入寇
- 6 下線部 f に関連する記述として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 豊後国の豪族は富貴寺大堂を建てた。
 イ 定朝は寄木造による和様の仏像様式を大成した。
 ウ 藤原頼通は宇治に平等院阿弥陀堂を建てた。
 エ 藤原清衡は平泉に中尊寺阿弥陀堂を建てた。
 オ 源信は『往生要集』を書き、醍醐寺を建てた。
- 7 下線部 g に該当する書物はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 懐風藻 イ 閑吟集 ウ 梁塵秘抄 エ 古今著聞集 オ 凌雲集
- 8 下線部 h に関連して、正倉院所蔵のものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 尾張国郡司百姓等解文 イ 筑前国嶋郡川辺里戸籍 ウ 紀伊国杵田荘絵図
 エ 紀伊国阿比河荘民訴状 オ 越後国奥山荘絵図
- 9 下線部 i のうち4つを、時代順に配列したものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 日本後紀－続日本後紀－日本三代実録－日本文徳天皇実録
 イ 日本文徳天皇実録－日本三代実録－日本後紀－続日本後紀
 ウ 日本後紀－続日本後紀－日本文徳天皇実録－日本三代実録
 エ 日本後紀－続日本後紀－日本三代実録－日本文徳天皇実録
 オ 日本三代実録－日本後紀－続日本後紀－日本文徳天皇実録
- 10 A、B に当てはまる語を、それぞれ漢字2字で記述解答用紙に記入せよ。

II 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

8世紀の末に桓武天皇が平安京を造営して以来、京都は日本における政治・経済・文化の中心的な都市として発展した。しかしその「かたち」は時代とともに大きく変容しており、西側の右京は早くから荒廃し、院政が始まる頃には、左京とさらにその東側の地が大きく発展した。また、後白河上皇は、それより南に位置した法住寺に院御所（法住寺殿）を構え、^aAに出資させて壮麗な蓮華王院を造立させている。一方、そのAは、祖父が屋敷を構えた水陸交通の要衝の地であるBに住み、以後、その地は平氏政権の重要な経済的拠点となっていく。この地は、鎌倉時代以降も、承久の乱により後鳥羽上皇軍が鎌倉幕府軍に敗れると、^b鎌倉幕府による京都支配の拠点が設置されるなど、政治上でも重要な地として発展していった。これらはいずれも、平安京の東側に展開した地であるが、室町時代に

入ると、北山や東山に室町幕府將軍の山莊が造営されるようになり、郊外の発展がますます進んだ。

一方、かつての平安京の左京では、^d室町幕府を支える有力大名同士が京都を主戦場に戦った応仁の乱以降、^e武家・公家の邸宅が集中する上京と富裕な商工業者が多く住む下京の分化が進んだ。この戦禍により、京都の市街地は焼け野原になったといわれるが、その後、長らく中断していた^f祇園祭の再興が図られるなど、町の復興が進んだ。1587年、豊臣秀吉は平安京大内裏の跡に聚楽第を建設し、当時の市街地を御土居と呼ばれる土塁で丸ごと囲う京都の大改造を行った。これにより京都の町の「かたち」は大きく変わったが、江戸時代以降も、京都は三都のひとつとして栄え、町衆出身の^gC・本阿弥光悦などの工芸家や、角倉了以などの豪商を輩出するなど、文化・経済の中心都市として発展した。

〔問〕

1 下線部 a の地についての説明として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 鴨川の東側に広がる地である。
- イ 法勝寺をはじめとする六勝寺が創建された。
- ウ 摂関家の別荘が白河天皇に献上された。
- エ 鳥羽上皇の院御所が置かれた。
- オ 東国へ向かう街道の起点であった。

2 に該当する人名を、記述解答用紙に記入せよ。

3 に該当する地名を、記述解答用紙に記入せよ。

4 下線部 b に関する説明として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 北方・南方に分かれて役割を果たした。
- イ 朝廷の監視をおこなった。
- ウ 安達氏などの有力御家人が長官となった。
- エ 尾張以西の御家人を統括した。
- オ 京都の警備にあたった。

5 下線部 c の地域がたどってきた歴史に関する説明として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 僧の俊寛の山莊で平氏打倒の陰謀が企てられた。
- イ 宋から帰国した栄西が建仁寺を建立した。
- ウ 足利義満は南禅寺を建立し五山の上に位置づけた。
- エ 豊臣秀吉が方広寺を創建し大仏を造立した。
- オ 清水寺の周辺で清水焼と呼ばれる陶磁器が生産された。

6 下線部 d に関する説明として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 守護に就任した大名は在京が原則であった。
- イ 山名持豊の屋敷は応仁の乱に際し東軍の本陣となった。
- ウ 畠山氏の家督相続問題が応仁の乱の一因となった。
- エ 応仁の乱の勃発当初、細川勝元は將軍御所を襲撃した。
- オ 侍所の所司は多くが赤松・一色・山名・京極の4氏から就任した。

7 下線部 e に関連して、室町～戦国時代の京都の説明として、正しいものはどれか。すべて選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 12人の豪商たちが月ごとに輪番で年行司を務めた。
- イ 下京の町衆は、主に酒屋・土倉を営んで経済力を蓄えた。
- ウ 複数の町が集まって町組を構成し、町組全体の問題は1年交代の当番町が解決にあたった。
- エ 通りをはさんで向かい合う町屋同士がひとつの両側町を構成していた。
- オ 貿易商人を中心にした三十六人衆により自治が進められた。

8 下線部 f についての説明として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 再興後の祇園祭は神人を中心に執り行われた。
- イ 町衆らの手により山鉦の巡行が行われる。
- ウ 祭の再興は1500（明応9）年である。
- エ この祭の起源は疫病退散を祈る御霊会である。
- オ 狩野永徳筆『洛中洛外図屏風』にも描かれている。

9 C に入る人名として、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 酒井田柿右衛門 イ 古田織部 ウ 千利休 エ 野々村仁清 オ 依屋宗達

10 下線部 g の人物について、正しい説明はどれか。すべて選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 幕府の呉服師を務めた。
- イ 朱印船を派遣した。
- ウ 西廻り航路・東廻り航路を開通させた。
- エ 菱垣廻船を就航させた。
- オ 高瀬川・保津川などの水路を開削した。

Ⅲ 次の史料を読み、後の問に答えなさい。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

(1) 副島伯の誕生されたのは、文政の末年である。其の時の日本は泰平の極度に達して、最も豪奢を極めた A 將軍の時代であつたが、その末路は天下大困窮の時代で、遂に水野越前守の如き人を喚起して大改革を為さしむるに立到つた。また初めて外交の端を発すると云ふ時代で、林子平^a、間宮林蔵らの国防家が現れた。その影響で副島伯も他日、日本の国権を張らうと云ふ観念を起された。

(2) 私は、副島伯と共に長崎に学校を建て、フルベツキを雇つて教師にし、英学を修めた。それから暫くして明治維新となり、副島伯も官吏になられた。明治維新は薩摩^bと長州^cの兩藩の力に依て成立つた。そこで、政府の中心の権力と云ふものは薩摩と長州に歸して居る。そのため薩長以外で且つ武勲も無い者が、明治政府の政權に携さはつても、種々の妨げに會つて、目的を達することが出来なかつた。国家に対する、社会に対する自分の理想を行はんとして行ふ能はざるの不平が出てきた。

(3) 副島伯は、外交、官制改革、或は詔勅文の起草、刑法編纂、若くは支那の使節、民撰議院の建白^dなど、奮然として行はれたが、明治六年には征韓論^eと云ふのが起つた。私は副島伯とは反対の位置に立つて居つた。国権を主とすると云ふのと、内治を主とすると云ふ位の違ひで、不幸にして副島伯は、此の征韓論の為に野に下らるゝ訳になつたのである。

(4) 其の翌年、台湾遠征^fが起つた。露西亜の侵略を防ぐには支那の力ではいけない。どうしても日本の力でなければいけない。又一方は朝鮮^gを日本の勢力の下に置く。又一方の台湾は到底支那では治めることは出来ぬ。併し支那が捨て、置けば外国に取られる。外国に台湾を取られると其の権力を支那に及ぼされるから、台湾を日本の権力の下に置いて、半月形に支那を囲んで東洋の覇権を握つて、露西亜の侵略を防がうと云ふのが其の時分の書物に顕はれて居る。

(5) (それから三十年。)副島伯は東邦協会の会頭となつて、東邦の平和のために尽力して来られた。今度の戦争^hに於ても、開戦前に在ては果して勝敗どうであるかと云ふことは国民等しく憂慮した。戦ひは早晚局を結ぶに相違ない。局を結んだ暁に東邦の平和、東邦の文明、世界の安寧幸福と云ふことに対して、始めて副島伯の理想を実現することが出来ると云ふ時になつたのである。唯、副島伯がそれを見ずして此世を去られたのは実に千載の遺憾である。

(6) 世の進むに従ひ、世間で段々副島伯の人格を聞き伝へるやうになつた。枢密院ⁱに居られる当時は、政治上からは少しく忘れられたが、社会に於ける名声及社会から受けた尊敬は、勝伯と共に非常なものであつたことは、勝伯といひ副島伯といふ偉大なる兩人傑が居られると云ふことだけを以て、世人が枢密院に余程重きを置いた一事でも能く分るのである。而して、其性格相似たる所の両伯は既に亡くなられた。併しながら両伯の精神は必ず永く世に存し、両伯の偉大なる感化は、将来長へに日本の人心を支配すると云ふことを深く信じて疑はぬのである。

〔問〕

1

A

 に該当する人物は誰か。1人選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

ア 家治 イ 家斉 ウ 家慶 エ 家定 オ 家茂

2 下線部 a の著作として、正しいものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

ア『海国兵談』 イ『華夷通商考』 ウ『赤蝦夷風説考』 エ『戊戌夢物語』 オ『三国通覧図説』

3 下線部 b 出身者として誤っている人物は誰か。1人選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

ア 森有礼 イ 西郷隆盛 ウ 松方正義 エ 大山巖 オ 谷干城

4 下線部 c 出身者で、第1回帝国議会開会時の総理大臣であつた人物は誰か。その氏名を漢字4字で記述解答用紙に記入せよ。

5 下線部 d に関わつた人物として、誤っている人物は誰か。2人選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

ア 木戸孝允 イ 古沢滋 ウ 加藤弘之 エ 後藤象二郎 オ 江藤新平

6 下線部 e に関連する記述として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

ア 日本は江戸時代、対馬の宗氏を介して朝鮮と外交を行なっていた。

イ 明治政府は朝鮮に国交樹立を求めたが、朝鮮側は交渉に応じなかった。

ウ 副島種臣・西郷隆盛らは征韓論を主張した。

エ 大隈重信・板垣退助らは、征韓論に反対した。

オ 日本の軍艦雲揚は、江華島事件を起こした。

- 7 下線部 f に関連する記述として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 琉球の漁民50余名が台湾先住民に殺されたことに端を発する。
 イ 清国は、現地住民の殺害行為には責任を負わないとした。
 ウ 西郷従道が軍勢を指揮して、台湾の一部を制圧した。
 エ 清国は日本の行動を批判したが、フランス公使の調停に従うことにした。
 オ 清国が事実上の賠償金を日本に支払うことで、問題は収束した。
- 8 下線部 g に関連する出来事を、年代順に並べたものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア ハーグ密使事件→伊藤博文暗殺事件→韓国保護条約→日韓議定書→韓国併合条約
 イ 日韓議定書→韓国保護条約→ハーグ密使事件→伊藤博文暗殺事件→韓国併合条約
 ウ 伊藤博文暗殺事件→日韓議定書→韓国併合条約→ハーグ密使事件→韓国保護条約
 エ 韓国保護条約→ハーグ密使事件→韓国併合条約→日韓議定書→伊藤博文暗殺事件
 オ 韓国併合条約→ハーグ密使事件→伊藤博文暗殺事件→韓国保護条約→日韓議定書
- 9 下線部 h に関連する次の記述として、誤っているものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 北清事変終結後も、ロシアは満州を占領していた。
 イ ロシアは北清事変後、親露政権の大韓帝国を成立させた。
 ウ 東京帝国大学教授戸水寛人やジャーナリスト徳富蘇峰らは主戦論を唱えた。
 エ キリスト教徒や社会主義者たちの一部が非戦論・反戦論を唱えた。
 オ 西園寺内閣は、イギリスやアメリカの支援を得て、開戦に踏み切った。
- 10 下線部 i に関連する次の記述として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 最初、憲法などの重要草案を審議するために設けられた。
 イ 初代の議長は伊藤博文であった。
 ウ 憲法では、天皇の最高諮問機関として位置付けられていた。
 エ 顧問官は元老と呼ばれた。
 オ 日本国憲法施行まで存続した。

IV 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

February 3, 1946, the day that marked an epochal turning point in Japan's constitutional history, was a beautiful Sunday. ⁽¹⁾ あ sent to Whitney the essential requirements for constitutional reform, that is, a note containing his "Three Principles." ⁽²⁾

1. Emperor is at the head of state.
⁽³⁾ His succession is dynastic.
⁽⁴⁾ His duties and powers will be exercised in accordance with the Constitution and responsive to the basic will of the people as provided therein.
- ⁽⁵⁾ 2. War as a sovereign right of the nation is abolished. Japan renounces it as an instrumentality for settling its disputes and even for preserving its own security. It relies upon the higher ideals which are now stirring the world for its defense and its protection.
 No Japanese Army, Navy or Air Force will ever be authorized and no rights of belligerency will

ever be conferred upon any Japanese force.

3. The feudal system of Japan will cease.

(5) No rights of peerage except those of the Imperial family will extend beyond the lines of those now
(7) existent.

No patent of nobility will from this time forth embody within itself any National or Civic power of government.

Pattern budget after British system.

(出典は KOSEKI, Shōichi, *The Birth of Japan's Postwar Constitution*.)

〔問〕

1 下線部(1)の日付より以前の出来事として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 民間の憲法研究会は、「憲法草案要綱」を発表した。
- イ 衆議院議員選挙法が改正され、女性参政権が認められた。
- ウ 教育基本法により、義務教育9年制などが規定された。
- エ 労働組合法により、労働者の団結権などが保障された。
- オ 昭和天皇が、いわゆる「人間宣言」をおこなった。

2 ☐ あ は誰か。適当なものを1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア Emperor Hirohito イ Douglas MacArthur ウ Harry Truman
- エ Joseph Keenan オ Kijiyuro Shidehara

3 下線部(2)に関連して、日本政府側の対応として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア 東久邇宮内閣は、憲法問題調査委員会を設置した。
- イ 憲法問題調査委員会の委員長には、松本烝治國務相が就任した。
- ウ 美濃部達吉は、憲法問題調査委員会顧問となった。
- エ 松本烝治は、「憲法改正要綱」をGHQに提出した。
- オ 「憲法改正要綱」では、天皇主権など明治憲法の基本理念が継承されていた。

4 下線部(3)は、日本国憲法第1条に反映された。以下の空欄のうち ☐ い , ☐ う に入る語句を、記述解答用紙に記入せよ。

「天皇は、日本国の ☐ であり日本国民 ☐ い であつて、この地位は、 ☐ う の存する日本国民の総意に基く。」

5 下線部(4)に関連して、皇位継承については日本国憲法第2条で規定された。以下の ☐ え に入る語句を、記述解答用紙に記入せよ。

「皇位は、世襲のものであつて、国会の議決した ☐ え の定めるところにより、これを継承する。」

- 6 下線部(5)の第2の“Principle”に先行し、以下の条約（一部抜粋）が存在した。この条約に関する説明として、正しいものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

The High Contracting Parties solemnly declare in the names of their respective peoples that they condemn recourse to war for the solution of international controversies, and renounce it as an instrument of national policy in their relations with one another.

- ア この条約により、史上初の国際平和機構である国際連盟が成立した。
 - イ 条約の一部の文言が、天皇大権を軽視し憲法に反するとして、政治問題化した。
 - ウ この条約を批准したことにより、日本は国際連盟常任理事国となった。
 - エ 下線部(5)の第2の“Principle”と異なり、自衛権については留保がついた。
 - オ アメリカ合衆国議会上院が批准しなかったため、この条約の実効性は大きく損なわれた。
- 7 下線部(5)の第2の“Principle”に基づき作成されたGHQの草案は、以下の通りである。この草案と、日本国憲法第9条との関連についての説明として、誤っているものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- “War as a sovereign right of the nation is abolished. The threat or use of force is forever renounced as a means for settling disputes with any other nation. No army, navy, air force, or other war potential will ever be authorized and no rights of belligerency will ever be conferred upon the State.”
- ア “Principle”で記されていた自衛戦争をも放棄する旨の規定は、草案でも日本国憲法でも組み込まれなかった。
 - イ 草案と異なり日本国憲法第9条では、「日本国政府は」で始まる条文となり、主体が明確となった。
 - ウ “disputes with any other nation”（「他ノ国民トノ紛争」外務省仮訳）は、日本国憲法第9条では、より一般的に「国際紛争」と修正されている。
 - エ 草案では戦力を無条件で保持しないことになっているが、日本国憲法第9条では「前項の目的を達するため」との文言が入り、一定の条件のもとで戦力を保持しないことという解釈が生じた。
 - オ 大日本帝国陸海軍は、日本国憲法の施行によって、武装解除され消滅した。
- 8 下線部(6)に関連して、占領期の出来事として誤っているものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 民法が改正され、家督相続制度から財産の均分相続となった。
 - イ 刑法改正がおこなわれ、大逆罪、不敬罪のほか、姦通罪も廃止された。
 - ウ 言論の自由が保障され、検閲なしに雑誌や新聞を発行できるようになった。
 - エ 警察法により、自治体警察が設置され、国家地方警察が廃止された。
 - オ アメリカ教育使節団は、教育民主化についての勧告をおこなった。
- 9 下線部(7)に関連して、誤っているものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。
- ア 版籍奉還により、藩主を公家とともに華族とした。
 - イ 1884年、華族令を定め、公・侯・伯・子・男の爵位を設けた。
 - ウ これらの爵位は、旧公家・旧大名のみに適用される身分呼称であった。
 - エ 華族令には、華族を将来の上院議員とする意図が込められていた。
 - オ 爵位の世襲は、男女問わず可能であった。

10 日本国憲法公布に至る過程の出来事として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当記号をマークせよ。

- ア “Three Principles”に基づき、GHQ民政局のKadesらを中心に、憲法草案を作成した。
- イ 日本政府は、英文のGHQ草案に手を加えて和訳し、政府原案を作成した。
- ウ 新憲法の制定は、大日本帝国憲法を改正する形式がとられた。
- エ GHQ草案では、一院制であったが、日本政府の強い希望で二院制となった。
- オ 衆議院と参議院でも審議され、各院で修正を加えた上で議決された。

〔以下余白〕